

皆さまこんにちは。

岩手県のアースジェネターユーザーをご紹介します。

八幡平市で和牛繁殖母牛 50 頭を経営している鈴木 圭一・英行さんの牛舎です。



繁殖母牛舎 ①

鈴木さんは削蹄師としても活動しており、地域でも重宝される存在です。



繁殖母牛舎 ②

アースジェネターを知ったきっかけは、23年に岩手県内で行われたシェパード松本先生の講演会です。講演の中でアースジェネターを知り興味を持って下さり、お問い合わせを頂きました。

アースジェネターを給与してから2年半が経過しました。

鈴木さんは、
「生後間もない子牛に毎日アースジェネターを与え始めてから、子牛の哺乳量がグンと上がり、
体つきが大きくなった気がする。育成期にも続けて給与したところ、エサの喰い込みも良くなっ
ている」
とおっしゃっていました。



育成舎 ①



育成舎 ②

肋張りも良く粗飼料の喰い込みの良さに加えて、飼育スペースも十分広くとっているのでリラックスしているように見えます。

このハウス牛舎は換気も一気に出来るので、猛烈な暑さが続きバテてしまうような時でも、牛の体感温度を下げるようにしています。



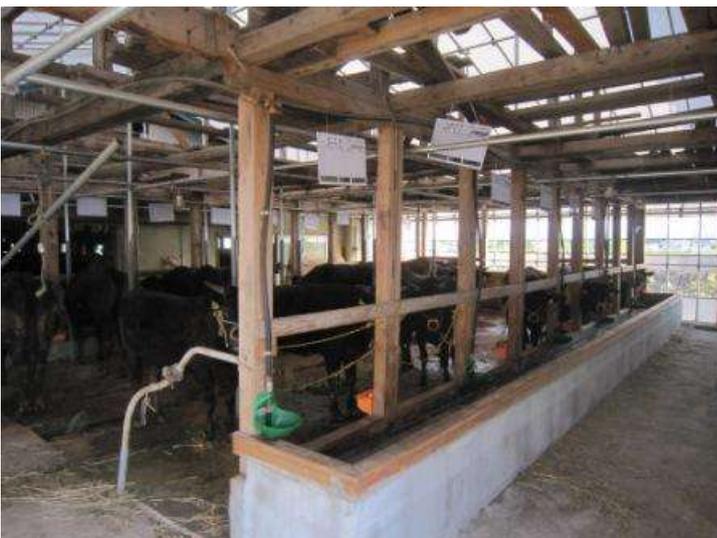
育成舎 ③

経営の秘訣について鈴木さんは、「病気、事故の早期発見・早期治療する事」、「その時々^の流行の種雄牛を一早く探り種付けする事」、「牛の気持ちになって考える事」、「毎日の観察によって異常のある牛を見つけ、処置する事」

とおっしゃっていました。

また、鈴木さんは削蹄師として他の現場へ行った際に、畜産の情報を多く交換できる事も利点の一つと考えています。

「近隣の方と削蹄を通じて交流し、その時に畜産情報の交換によって自己の経営をより高める事が出来る。」と話しておられました。



繁殖母牛舎 ③

今後はますます母牛の改良を進め、良い血統を母牛や三代祖に残していくことを目標とし、病気・事故の少ない健康な牛づくりを目指すとのこと。これからも、より良い経営の発展を期待しております!